

平成 30 年 5 月 24 日
学校法人 大乘淑徳学園

平成 29 年度の資金運用結果について

平成 29 年度は、国内外の好調な企業業績に支えられ堅調な相場展開となりました。国内金利は、日銀の長期金利操作付量的・質的金融緩和のもと、長期金利は概ね 0% で維持されました。

2018 年初からは、米国の雇用統計の改善や、トランプ減税効果によるインフレ懸念を背景に、米
国金利が急騰し、長期金利は 2.9% 台にまで上昇しました。これを受け、投資家の恐怖心理を示す
VIX 指数は 2015 年以来の高さまで上がり、株式市場は国内ともに急落しました。国内金利には、
大きな変化は見られず、長期金利は 0% 付近を維持しました。

また、好調な企業業績を背景に、国内企業のクレジットスプレッドは昨年度と比べ縮小しました。

本学園では、上記の状況の下、資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織
して、平成 29 年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に平成 29 年度の資金運用結果について簡単にご報告いたします。

1 預金（期末残高 146 億円）

満期を迎えた定期預金などについて、一定の預金量を有し健全経営を行っている金融機関のなか
から、利率面で有利なところへ見直しを行いました。日銀による長期金利操作付量的・質的金融緩
和が継続するなかでの結果となりました。

運用益は 2,759 万円（利回り約 0.19%）となりました。

2 社債（期末残高 約 42 億円）

社債については、1 銘柄 3 億円が償還し、生保・損保の劣後債 2 銘柄 10 億円を新規に購入しま
した。

運用益は 3,610 万円（利回り約 0.86%）となりました。

3 金融債（期末残高 約 15 億円）

金融債については、大手金融機関の債券を継続して保有しました。

運用益は 917 万円（利回り約 0.61%）となりました。

4 その他（期末残高 約 68 億円）

低金利のなか安全で一定のクーポン収入が期待できるクレジットリンク債 2 銘柄 16 億円を新規
に購入しました。

運用益は 4,041 万円（利回り約 0.59%）となりました。

以 上